

平井川流域連絡会 第5期 第1回全体会

議事録概要

日時：平成20年8月26日（火） 午後7時～午後9時20分

場所：あきる野ルピア3階（情報研修室）

委員出席者：

公募委員 4名

団体等委員 5名

行政委員 8名

次第

1. 開会

2. 議題

- (1) 委員公募の報告、委員の紹介
- (2) 設置要綱及び運営要領
- (3) 座長、副座長の選出について
- (4) 第4期の活動報告について
- (5) 第5期の進め方について
- (6) その他

- 配布資料**
- ・ 次第
 - ・ 平井川流域連絡会（第5期）委員名簿
 - ・ 平井川流域連絡会（第5期）座席表
 - ・ 平井川流域連絡会設置要綱（案）
 - ・ 平井川流域連絡会運営要領（案）
 - ・ 第4期平井川流域連絡会の活動（パンフレット）
 - ・ 第4期平井川流域連絡会活動概要一覧
 - ・ 平井川ゾーニング計画について
 - ・ 平井川流域連絡会（第5期）進め方（案）
 - ・ 代田橋架替 平面図、工事工程表（案）
 - ・ 高瀬橋架替 平面図、工事工程表（案）
 - ・ 高瀬橋（仮称）水辺環境調査 調査結果概要
 - ・ 高瀬橋（仮称）水辺環境調査 調査結果
 - ・ 資料編

新委員のみへの配布資料

- ・ 平井川の川づくり（平成20年6月平井川ゾーニング計画）資料集、その他
- ・ 平成19年度菅瀬橋下流工事の環境保全対策の実施状況
- ・ 多摩川水系 平井川河川整備計画（平成19年6月 東京都）

.....

議事内容

(1) 委員公募の報告、委員の紹介

- 配布資料** ・ 平井川流域連絡会（第 5 期）委員名簿
・ 平井川流域連絡会（第 5 期）座席表

事務局より、公募委員 12 名、行政委員 8 名の 20 名で第 5 期を行うこと公募委員 12 名のうち、3 名が新規委員、9 名は第 4 期からの継続、行政委員は、3 名が新規に任命されたとの説明があった。

その後、各委員の自己紹介及び事務局の紹介を行った。

(2) 設置要綱及び運営要領

- 配布資料** ・ 平井川流域連絡会設置要綱（案）
・ 平井川流域連絡会運営要領（案）

事務局より設置要綱と運営要領の変更点について説明があり、各委員の了承を得た。

変更点は、公募委員のうち、団体委員についての明確な公募規定がなかったためその旨追加したこと、これにより、第 4 期までの設置要綱に記載されていた「団体委員は都の要請で選出」を削除の二点である。

(3) 座長、副座長の選出について

座長、副座長を公募委員より募ったが、希望者、推薦者ともいなかったため、事務局案として、座長に西多摩建設事務所工事第二課長、副座長にあきる野市都市整備建設課長を推薦し、各委員の了承を得た。

座長、副座長から挨拶があり、その後の議事進行を事務局から座長へと変更した。

(4) 第 4 期の活動報告について

- 配布資料** ・ 第 4 期平井川流域連絡会（平井川流域連絡会の活動）
・ 第 4 期平井川流域連絡会活動概要一覧
・ 平井川ゾーニング計画について

第 4 期に行った活動について、事務局から配布資料を基に報告を行った。

- ・ 第 4 期は、26 名の委員で行った。
- ・ 第 4 期は、平井川ゾーニング計画の検討、菅瀬橋下流工事に係る保全活動の 2 つの小委員会を中心に活動を行った。
- ・ 平井川のゾーニング計画について資料を基に事務局より説明を行った。

主な委員意見

ゾーニングの図には、貴重な生物の確認位置等が記載されているが、これを公表することにより、この図をもとに採集する人が来るのではないか。できれば、記載はしない方がいいのではないか。

事務局回答

今後、どこまでのデータを公表するかを検討したい。

(5) 第5期の進め方について

配布資料・平井川流域連絡会(第5期)進め方(案)

第5期の進め方について、資料を基に説明を行った。

- ・4期の小委員会方式をそのまま継続し、行っていく方針である。
- ・全体会は、年2回開催し、委員にかかる負担を軽減する予定である。
- ・全体会だけでは、議事が進まないのので、小委員会を行う。
- ・4期の小委員会は委員を固定して行ったが、第5期の小委員会は、全委員に開催日を連絡し、出席した委員で行うこととする。
- ・蛸小委員会は、第4期は積極的な活動を行っていないが、第5期も継続をお願いしたい。

主な委員意見

第5期の基本的な進め方については了承した。

- ・小委員会については、平井川現地を利用した活動も入れていいのではないか。
- ・第4期で小委員会の開催回数を増やしたが、まだ結論まで到達しなかった項目が多かったのので、全体会は、この案で良いが、小委員会については、回数を増やして開催してほしい。
- ・小委員会については、テーマを絞って行うことにより、事務局が用意する資料も少なくすることができるのではないか。テーマを絞ることにより、資料のまとめも簡略化でき、議論もまとまるのではないか。
- ・小委員会は、毎月何日に行うという定例化にできないか。
- ・時間を昼間に行うことはできないか。土曜日に開催できないか。

事務局回答：事務局としても昼間の開催が望ましいが、委員は、昼間仕事をされている方も多く、参加することが難しいのではないか。昼間でも参加できる方が多いようであれば、検討する。

土曜日開催については、委員の同意が得られるようであれば可能である。

- ・開催スケジュールについては、次回の委員会で事務局より提案してもらえないか。
- ・今後話し合うテーマは、「第4期から継続してのゾーニング計画」、「河川整備に伴う生物生息環境の保全に関するマニュアル作り」、「総合治水対策と平井川に

対する夢」でどうかと提案があった。

事務局回答

次回までにまとめて回答する。

(6) その他

- 配布資料
- ・代田橋架替 平面図、工事工程表(案)
 - ・高瀬橋架替 平面図、工事工程表(案)
 - ・高瀬橋(仮称)水辺環境調査 調査結果概要
 - ・高瀬橋(仮称)水辺環境調査
 - ・資料編

今年度工事予定の代田橋架替工事及び高瀬橋架替工事について、事務局より説明を行った。

代田橋架替工事について

平成 20 年度 10 月から工事を開始し、平成 22 年度 3 月までの 3 年間の工事をいう予定。

表土の保全であるが、3 年間、別の場所にとり置いて表土を保全することは難しいので、何か良い方法があれば、ご教示願いたい旨、事務局から要望があった。

主な委員意見

- ・代田橋の架け替えは、河積の確保のために必要だと思う。
- ・都市計画線を見ると代田橋付近を通過して、五日市街道と都道 165 線を結ぶ道路が計画されているようであるが、この道路は代田橋を利用して平井川を横断するのか？

事務局回答

この計画道路は、代田橋は通らず、別の場所に橋をかける予定である。

- ・代田橋の環境調査は、環境アセスメントに則って行われるのか

事務局回答

代田橋は、環境アセスメントの対象外なので、アセスに則った調査は行わない。

高瀬橋の架替工事について

- ・高瀬橋(仮称)は、コンクリートで作成する予定で、橋脚部分は、川の中に入らない構造とする。
- ・工事は、平成 20 年度に左岸側の工事、平成 21 年度に右岸側の工事を始め、23 年度まで工事を行う予定にしている。
- ・昨年度に行った水辺環境調査(生物及び地下水位)の結果説明を行った。詳細については、別途配布した報告書及び資料編を確認してほしい旨を報告した。
- ・6 月の連絡会で出た質問(騒音及び景観の調査をなぜ行わないのか)の回答として、本案件は、都条例に定められている環境アセスメントの対象規模(4 車線、1 km 以上)ではないため、行わなかった。

- ・専門家を交えての地下水調査の立会いについては、6月に行う予定であったが、専門家が所用のためキャンセルされ、その後の約束が取れていないので、再度立会いをお願いし、調査を行う予定にしている。
- ・道路に設置する照明については、道路面のみを照らすような仕様にする。
- ・ライトの種類については、予定地周辺に生息している生物に影響を与えないような製品を今後、検討する予定である。
- ・西多摩建設事務所としては、データ及び情報公開をし、市民から意見を聞くスタンスでいることは、理解してほしい。

主な委員意見

- ・高瀬橋周辺は、ゾーニング計画に明記されている「里の川」としての象徴的な場所である。しかし、本日の話の中では、生物及び湧水の保全方法についての話がまったく出てきていないが、これらのことをきちんとしないうちに建設だけ進めるのは、いかがなものか。

事務局回答

現在、都環境保全局を交えて検討中である。

- ・以前の流域連絡会で地下水の専門家との話し合いをすと言っておきながら、話が進展していないが、12月に工事を始めるのはいかがなものか。
- ・先に工事計画ありきで話が進んでおり、環境保全対策が決まっていないが、対策を先に決めてから工事計画を進めるのが筋ではないか。
- ・ちゃんとした調査を行い、その結果を評価、検討した上で工事を行うべきではないのか。それができていないのに、工事を先に進めようとしているのは納得できない。
- ・湧水調査の地点を教えてほしい。
事務局回答：地点は、崖の上にあるあきる野市の市道脇に水位計を2箇所設置して行った。
- ・条例のアセスメントの対象になっていないこととことだが、騒音、景観等の調査も含め、条例のアセスメントに準じた形での調査を行ってほしい。

事務局回答：上記の質問については、次回の連絡会で回答を行う。

次回の委員会は、9月末もしくは10月初めに行う予定である。

開催2週間程度前には委員に連絡を行う。

以上